

# 人権尊重の まちづくりのために

— その1 —

## ◆大切にしよう！わたしを あなたを みんなを

私たちがめざすのは、自分を犠牲にして他の人の人権を守ることではなく、互いにありのままを認め合うことです。自分を肯定的に見ることが出来る人は、他の人も同様に肯定的に見ることが出来るからです。

自分自身に肯定的な感情とは、自分を価値ある存在と思う気持ち、つまり、「わたしを好きと感じる」「わたしを大切にしよう」といった自分の存在を肯定する意識であり、自分自身の生きる力になり、精神的な安定にもつながるといわれています。このような意識が高い人は、自己と

同時に他者を肯定的にとらえることができるので、人間関係を豊かにすることが出来るのです。また、異なった価値観をもつ人に対しても寛大に受け入れ、受容的な態度をとることが出来ます。このことは、人権を基盤にした人間関係の形成に欠くことのできない要素です。

何かが出来るようになるか目標を達成することだけが、直接的にこのような意識を高めることにつながるわけではありません。もちろん、自分の目標達成のため努力することや取り組む姿勢はすばらしいものです。

しかし、「人は、存在するだけで価値のあるものである」とことを心にとどめておくことも大切です。

自分の「いいところ」を見つけることが、自分の個性に気づき、自分を大切にしている気持ちや態度につながります。

身近にいる人に対しても「いいところ」を見つけて、励ましたりすることによって、相手の存在を認め、互いの人間関係を豊かにしていくことができます。

### 保護者の会合で：

司会 「では、自己紹介をかねて、自分のいいところを話してくださいね」

A 「私は、性格が明るくて小さなことでよくよしいところがいいところかしら」

B 「私は、料理が得意です。子どもがいつも『おいしい、おいしい』と言って食べられます」

C 「私は子どもの話をよく聞くように心がけています。子どもの会話って楽しいですね」

D 「自分のいいところねえ・・・思いつかないわ・・・」

E 「Dさんは、細かいところによく気がつくし、町内会の活動もやってくれていますよね」

D 「えっ、そうかしら・・・ありがとうございます」

### 参考・引用文献

「21世紀の人権を考える」  
(財)人権教育啓発推進センター発行  
「社会人権教育資料」  
徳島県教育委員会発行

※人権啓発コーナーは今月号より毎月掲載します。

## 「まむし」にかまれたら



5月から10月にかけては「まむし」の出没期です。もし、「まむし」にかまれたら応急処置をして一刻も早く医師の診察を受けてください。

### 【応急処置と受診】

- ◎ 傷口より心臓に近いところを強くしぼる。
- ◎ 15分に1回は、しぼりを解いて血を通し、またしぼる。
- ◎ 一刻も早く医師の診察を受ける。

### 【血清の保管場所】

徳島赤十字病院 (小松島町井利ノ口103)

☎32・2555

### 地域ふれあい感謝デー

## 音楽祭ファミリーコンサート2012

【日時】 5月18日(金) 午後6時30分開演

【場所】 鳴門市文化会館

※入場は無料ですが、入場整理券が必要です。

※入場整理券は市役所1階総合案内にて配布しています。



### 地域ふれあい感謝デー

## 徳島航空基地一般公開2012

【日時】 5月20日(日) 午前8時から午後3時まで

【場所】 徳島航空基地 (松茂町住吉)

### 【お問い合わせ先】

海上自衛隊徳島教育航空群司令部広報室

☎088・699・5111